

普及活動情勢報告（令和2年12月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

一番の有望品種はどれでしょう？ ～いの町小野営農組合がはちきん芋等の収穫を実施～



どの芋の収量が多いかな？

12月8日、小野営農組合は6月から実証栽培していた‘はちきん芋’や‘アラブ芋’等の収穫作業を行い、組合員等14人が参加しました。

参加者が協力して作業を行った結果、2時間ほどで収穫作業は終了しました。組合員からは、「はちきん芋が1番芋を傷つけず楽に収穫することができた」等の感想が聞かれました。

農業改良普及課は、収量調査を支援したほか、後日計画されている食味試験にも協力することとしました。

農業改良普及課は、今後もいの町等関係機関と連携して営農組合の活動を支援していきます。

ショウガの消費拡大に向けて全国に情報発信！ ～JA高知県土佐市生姜部会が「NHKうまいッ！」に出演～



料理を試食するユージさん

11月18日、JA土佐市生姜部会は、脇役になりやすいショウガをメイン食材として紹介する「NHKうまいッ！」の取材を受け、JA担当者と生産者5人が対応しました。農業改良普及課は部会長の依頼で、料理の提案と調理の支援を行いました。

取材の中で出演者であるタレントのユージさんは「ショウガがメインになっている、美味しい」とコメントするなど、更なるショウガの消費拡大に繋がるのが期待されます。

取材終了後、部会長からは「土佐市のショウガの良い宣伝になると思う」との評価の声も聞かれました。

農業改良普及課では、今後もJA等関係機関と連携し、ショウガの生産と消費拡大等の支援を行っていきます。

低温期の育苗や栽培管理について研修 ～JA高知県土佐市ニラ部会が現地検討会を開催～



意見交換する参加者

12月11日、JA土佐市ニラ部会が現地検討会を開催し、生産者6名が参加しました。

JAは、低温期の栽培管理及び次園芸年度分の育苗管理について指導し、農業改良普及課は、現地ほ場で行っている調査の経過報告と、「農薬肥料一元化システム」について説明しました。

生産者からは、今後の病虫害防除や苗床の地温確保等について質問があり、生産者同士で情報共有する良い機会となりました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携してニラ部会の高品質・生産安定に向けて支援していきます。

多様な都市近郊型果樹農業を目指して ～JA高知県伊野支所まるい果実部が総会・勉強会を開催～



新たな技術等を説明する普及員

12月10日、JAまるい果実部がJAグリーン伊野で総会・勉強会を開催し、生産者13名が参加しました。勉強会では、農業改良普及課がナシ・カンキツ・ブドウの新たな技術や最近の品種動向などについて説明を行いました。

参加者からは、栽培管理方法や有望品種などについて、多くの質問が出されました。

まるい果実部は、高知市近郊で直販比率が高いため、新たな技術や品種を提示することによって、より顧客ニーズに即した取り組みへの機運を高めることができました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して情報提供を行いながら、まるい果実部生産者を支援していきます。